

漫画、されど漫画

難波 義郎（建築学科）



1)「君たちはどう生きるか / 吉野源三郎著」新装版
マガジンハウス

今巷では「君たちはどう生きるか」^{1),2)}が大ブレイクを起しているらしい。宣伝では漫画 135 万部、新装版 35 万部、合計 170 万部売れているようです。原著は吉野源三郎、初版は岩波文庫（1937）のようで「全国の先生が、大好きな本！」と謳っています。

そこで、私も手に取って見ましたが、感想を述べる前に私の漫画との付き合いを書いておきます。初めて漫画と出会ったのは、親戚の家で「のらくろ（田河水泡）」だったと思いますが、記憶は定かではありません。意識的に読みだしたのは昭和 30 年代前半、当時は貸本屋なるものがあり、数十円で借りたものです。月刊「少年」には、「鉄腕アトム（手塚治虫）」、や「鉄人 28 号（横山光輝）」などが掲載されており、リアルタイムで夢中になりました。週刊誌も少年サンデー、マガジン、ジャンプなど次々と出版されるようになり、動画アニメ化されて TV に登場していきました。鉄腕アトムは米国ではアストロボーイという名称で呼ばれました。今や、アニメは日本の文化となりました。

私自身、そのような時代背景で育ってききましたから、漫画に理解はあるつもりですが、やはり漫画は漫画で、娯楽的要素が強いものと位置づけていました。実際、前述の横山光輝がアニメ版⁴⁾の三国志を描いていますが、それは見ずに吉川英治³⁾の三国志を全五巻完読しました。知識としては同じかもしれませんが、文脈から想像することに一種の知的快感を覚えます。

さて、「君たちはどう生きるか」に話を戻すと、印象として、真面目な内容の物語です。登場人物はコペル君。ネタバレにならない程度に解説すると、彼を通して、精神的成長に託して語り伝えようとしている物語です。それは、人生いかに生きべきかと問うとき、常にその問いが社会科学的認識とは何かという問題と切り離すことなく問われねばならない、というメッセージ*だろうと思われます。「青少年向け文学全集」として書き下ろされた作品なので、中学・高校生向けですが、大学生・大人が読んでも十分意味のある書であると思います。

今回のお勧めは、本頁記載の 6 点です。

参考

*はてなダイアリー

<http://d.hatena.ne.jp/shimeg/20100716/p1>



2)「漫画 君たちはどう生きるか / 吉野源三郎 原作：羽賀翔一漫画」マガジンハウス



3)「三国志 / 吉川英治 著」新装版：文庫（全 5 巻）講談社



4)「三国志 / 横山光輝 漫画」漫画（全 30 巻）潮出版社



5)「マンガでわかる構造力学 / 原口秀昭著：サノマリナ漫画」彰国社



6)「マンガでわかる環境工学 / 原口秀昭著：サノマリナ漫画」彰国社